

2026 年度
履修の手引き
情報学部



工学院大学

目次内容

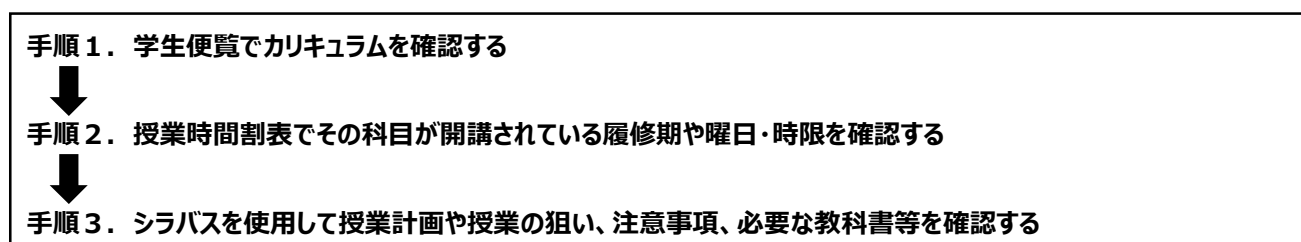
履修の手引き – 全学部共通 –	3
履修科目の決め方	3
履修に必要な情報の取得方法	3
履修登録に関わる注意点 1 【授業形態と遠隔授業の上限単位数】	4
履修登録に関わる注意点 2 【CAP 制度・レポート・再履修】	5
各科目の履修登録に関する注意事項	6
1. 総合文化科目	6
2. 英語科目	7
3. 言語コミュニケーション科目 ※2026 年度以降入学生のみ対象	8
4. 第二外国語科目 ※2025 年度以前入学生のみ対象	8
5. 保健体育科目	9
6. 教職課程科目	9
7. 学芸員課程科目	10
8. インターンシップ・キャリア支援科目	11
授業時間割変更等について	11
新宿キャンパスの教科書販売について	11
授業アンケートの実施について（クォーター毎に実施）	11
履修の手引き（情報学部編）	12
ステップアップ制対象科目について	12
プログラミング系科目の履修登録について	12
情報数学系科目の開講時期と履修登録について	13
各専門科目の履修登録について	14
数学系科目の履修登録について	16
物理系科目の履修登録について	17
化学系科目の履修登録について	17
カリキュラム表に記載されていない科目の履修登録について	18
履修登録&マイステップ登録 スタートマニュアル	19

履修の手引き – 全学部共通 –

履修科目の決め方

履修する科目は、ご自身が入学した入学年度の学生便覧における所属学科のカリキュラムから選ぶことになります。学生便覧で履修しなければならない科目を確認した後、授業時間割表を使用して、その科目の履修期、曜日、時限を確認します。どのような授業が行われるかを確認する場合は、シラバスを利用します。

以上のことが確認できたら、キューポートの履修登録メニューから履修登録を行ってください。



履修に必要な情報の取得方法

名称	説明	情報取得先	注意事項
キューポート	工学院大学の学生ポータルサイトのこと	大学入学後、アカウントが配布されるのでガイダンス内容にしたがってログインすること	履修の登録を行う、大学からの重要なお知らせが通知されるなど学生生活を行う上で必要不可欠なサイトなので使いこなせるようにすること
学生便覧	カリキュラム、学則など学生生活に必要な情報がまとめてある	大学サイト	自身の入学年度・所属学科のカリキュラムを参照し、進級・卒業に必要な科目や要件を確認すること
授業時間割表	当該年度の授業がいつ（履修期、曜日、時限）どこで（教室）で開講され、誰が（教員名）担当するかがわかる	キューポート	授業時間割表で得た情報をもとに、キューポートの履修登録メニューから履修登録をすること
シラバス（授業計画）	各授業について、授業の狙い、授業計画、成績評価方法、教科書などが掲載されている	キューポート	初回授業に出席する前に内容を確認し、履修科目を決定すること
履修の手引き ※本冊子	履修登録を行うにあたっての注意点、登録方法がまとめられている	キューポート または 大学サイト	科目ごとに履修ルールが定められている場合があるので、内容をよく読んで遵守すること
履修コード表 （新入生対象・一部科目）	クラス分けされている授業において、どの授業コードに自分が登録するべきか確認する表	キューポート	例えば、微分及び演習〔先進〕〔ABCD〕と表示されているコードが複数ある。その時、履修コード表を見て自分が登録する授業コードを確認すること
科目変遷表	カリキュラムに記された科目に変更（名称変更など）が生じた場合の対応表のこと	キューポート	例えば、中国語初級が時間割に存在しない場合、どの科目で代替可能なのかを確認すること

履修登録に関わる注意点 1 【授業形態と遠隔授業の上限単位数】

授業形態の種類

2026 年度の授業形態は、授業の特性に合わせて 4 種類に分かれます。

それぞれの形態の特徴と注意しなければならない点を下記の表で確認してください。

授業形態	特徴と注意点	時限	受講形態
①対面 時間割上の曜日時限に配当された教室における対面の授業をベースとする* 時間割表記：[対面]	<ul style="list-style-type: none"> ・教室 / 実験室等で実施される ・出席の際は教室備え付けの出席端末リーダーにタッチすること ・基本、対面授業だが一部の授業回を遠隔で実施することもあるので教員の指示に従うこと 	2～5 限	対面
②ハイブリッド 時間割上の曜日時限に配当された教室にて実施し、オンラインツールを用いて同時配信を行う* 時間割表記：[ハイ]	<ul style="list-style-type: none"> ・対面で受講するときは、教室備え付けの出席端末リーダーにタッチすること ・遠隔受講の場合の要件（受講場所を問うか、問わないかなど）は各回の授業で指示があるのでそれに従うこと ・遠隔受講の出席確認方法は教員の指示に従うこと 	2～5 限	対面/遠隔
③遠隔（同時双方向） すべての授業を時間割上の曜日時限にオンラインツールを用いて実施する* 時間割表記：[遠隔(同)]	<ul style="list-style-type: none"> ・受講要件（受講場所を問うか、問わないかなど）は各回の授業で指示があるのでそれに従うこと ・出席確認方法は教員の指示に従うこと 	2～5 限	遠隔
④遠隔（オンデマンド） 音声付パワーポイント教材や録画した映像授業を定められた期限までに受講する 時間割表記：[遠隔(オ)]	<ul style="list-style-type: none"> ・1 限または 6 限に配置されているが、その時限に受講する必要はない。 ・一つの時限に複数の授業を履修可能。 ・受講や課題・小テストの期限は受講方法説明書の記載や教員の指示に従って対応すること ・課題は定められた期限までに提出すること ・質問は教員の指示に従っておこなうこと ・出席確認方法は教員の指示に従うこと 	1 限 または 6 限	遠隔

*オンデマンド EX を除く

各授業形態の確認方法について

各授業形態の確認は授業時間割表を参照してください。科目名の後ろに授業形態が記されています。

例) 工学院大スタディーズ [先進][ABCD][遠隔(オ)] ⇒ 遠隔（オンデマンド）

遠隔授業が卒業単位として認められる上限 60 単位について

学則第 35 条 2 により、遠隔授業が卒業単位として認められるのは **60 単位以下**と定められているため、履修においては遠隔授業で修得する単位数に注意すること。ただし、対面授業を 64 単位以上修得している場合は、遠隔授業の単位が 60 単位を超えることは差つかえない。

※授業形態が[遠隔(オ)&対面]となっている授業は遠隔としてカウントします。

履修登録に関わる注意点 2【CAP 制度・レポート・再履修】

CAP 制について

履修登録の上限単位数は一年間（通年）で設定し、原則として以下のとおりとします。

1-4 年の各年次それぞれ 49 単位まで（前期・後期・1～4Q・通年科目の合計）

履修登録の上限単位数に含む科目は、前期・後期・1～4Q・通年科目とし、夏期・春期等の集中授業については上限単位数に含めません。

特例措置について

1 通算 GPA が高い学生に対する特例措置

前年度末日までの成績によって算出された通算 GPA が **3.5 以上**かつ前年度修得単位数が **40 単位以上**の者に年間 **59 単位**まで履修登録を認める（+10 単位）

※前年度修得単位数は、前期・後期・1～4Q・通年科目のみ（他大学科目は含まない）で算出する

※特例の対象となるかは各自で確認すること

2 教職科目（教職に関する科目）および学芸員課程の科目に対する特例措置

- ・ 教職課程必修科目（教職に関する科目 * のみ）は上限単位数に含めない

※2019 年度以降の入学生は「教育の基礎的理解に関する科目等」と「各教科の指導法に関する科目」を指す

- ・ 学芸員課程必修科目は上限単位数に含めない

CAP 制に関する注意点について

1 不合格になった科目も **CAP 制の上限単位数に含まれます**。例えば 1 Q、2 Q で多くの科目を履修して不合格になった場合、3 Q、4 Q で履修できる科目が、その分少なくなりますのでご注意ください。年間の履修計画をしっかりと立てて登録することが重要です。

2 リポートや再履修する科目も **CAP 制の上限単位数に含まれます**。

レポート制度について

レポートとは、成績評価の低い科目の授業をもう一度履修することです。レポートした結果、古い成績評価を上回った場合は、新しい成績評価に置き換わります。

レポートができる授業について

基本的にどの科目でもレポートはできますが、履修できる授業クラスには原則、以下の制限があります。

- 1 科目名のあとに「**（再）**」とついている科目は、過去に一度以上受講したものの単位未修得である学生のみ履修可能な授業のためレポートできません。
- 2 人数調整の兼ね合いで履修コード表に基づき履修登録を行っている授業はレポートできない可能性があります。

再履修制度について

再履修とは、一度履修した科目の単位を修得できず、再度履修し修得を目指すことです。

再履修ができる授業について

- 1 基本的にどの科目でも再履修はできますが、履修できる授業クラスには原則、以下の制限があります。
- 2 他学科で開講されている同名の科目は、名称が同じであっても内容が異なる場合があるので原則、履修を認めません。特別に他学科での履修を認める場合は、履修の手引き各学科ページかキューポート掲示にて指示します。下位学年の科目を履修する場合は、必ず自身の入学年度の学生便覧で自分のカリキュラムにその科目があるか確認してください。自分のカリキュラムにない科目を修得しても自学科の単位になりません。
- 3 再履修したい科目が今年度で開講されていない場合には、科目変遷表で対応を確認し、該当科目を履修してください。科目変遷表で対応する科目を修得することで、年度末に自身の入学年度の科目名に振り替えて修得することができます。

各科目の履修登録に関する注意事項

1. 総合文化科目

総合文化科目は1年生配当の科目と2年生以上配当の科目に大別されます。

1年生配当科目

1年生の受講可能な科目には、すべての学部に通じる「工学院大スタディーズ」(1Q)があります。この科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI プログラム リテラシーレベル」の必須科目となっています。(詳しくはこちら。<https://www.kogakuin.ac.jp/datascience/>)。これに加えて建築学部では1年生前期から「美術」や「言語と文化」に関する総合文化科目、情報学部では1年生後期からすべての総合文化科目を履修することができます。

※2025年度以前入学生の方へ

2025年度以前入学生に開講されていた情報学部生用の「情報ロジカルライティング」、工学部・先進工学部生用の「ロジカルライティング」は総合文化科目としての講義が廃止となりました。「ロジカル・ライティング」という科目が開講されますが、これは2026年度以降入学生向けの新しい科目のため履修できません。なお、建築学部生用の「建築ロジカルライティング」につきましては、2025年度以前入学生向けに引き続き開講されます。時間割にて確認の上、必要に応じて履修登録を行ってください。

2年生以上配当科目

総合文化科目は4年生までの間にバランスよく履修することが大切です。2年生以上配当の科目は、当然ながら3年生・4年生でも履修できます。3年次科目履修条件や卒業論文着手条件をクリアする必要がありますが、何もあせって早く取る必要はありません。着実に計画的に履修していくことをお勧めします。また「〇〇A」と「〇〇B」は特に受講順序は決まっていません。どちらからでも、どちらか一方だけでも受講可能です。

2年生以上配当の総合文化科目は、ほとんどがオンデマンド科目です。対面授業は下記の科目のみとなります。

「美術A」(前期 火曜3限または4限) 八王子校舎

「美術B」(後期 火曜3限または4限) 八王子校舎

「技術者を志す私たちの総合文化プロジェクト」

(前期 火曜5限または金曜5限、後期 月曜3限または4限) 八王子校舎

オンデマンド型の具体的な科目名については、入学年度の学生便覧で確認してください。オンデマンド科目は抽選なしに受講できますが、初回講義から必須課題等がある場合もあります。必ず初回から受講するようにして下さい。また、KU-LMS に掲出される「受講方法説明書」で、各回の課題提出の締切日程、合同定期試験期間中の試験の有無や試験日程などを確認した上で、最終的な受講を決定してください。

※例年、例外履修申請に関わる問い合わせが多くありますが、「学部が指定されている総合文化科目」は指定されている学部生以外は例外履修であっても履修をすることはできません」のでご注意ください。

総合文化科目の履修登録

履修登録期間内であれば登録を削除することができます。受講しないと決めた科目は履修登録期間内に削除するようにしましょう。削除しないでF評価になるとGPAに大きく響きます。とくに、オンデマンド科目の受講登録は自由度が高いですが、それだけ受講する学生の皆さんの計画性が問われますので、注意してください。

下記の総合文化科目の履修登録に関わるQ&A集もご確認ください。

https://docs.google.com/document/d/1HprqvhQzjxKaWBGcYfwHavNyKMDHcirpdkSZYvNWHIY/edit?usp=drive_link

以上を確認した上でさらに総合文化科目の履修について不明な点は、担当の先生ではなく以下にお問い合わせください。
liberalarts@cc.kogakuin.ac.jp

2. 英語科目

必修英語の履修登録

クラス編成について

- 1 必修英語は、指定されたクラスを教務課が事前に登録しますので、内容を確認してください。他の必修科目と曜日時限が重複するなど特別の事情がない限り、指定されたクラス以外での履修は認めません。
- 2 「Basic English I/II」と「Basic Communication I/II」（1年次必修英語科目）は、習熟度調査の結果に基づきクラス分けをします。
- 3 「Basic Academic English I/II」（2年次必修英語科目）は、前年度の TOEIC-IP テストの結果に基づきクラス分けをします。
- 4 全学部1、2年生を対象に TOEIC-IP テストが実施されます。詳細はキューポートに掲載します。このテストの結果は、「Basic English II」の成績評価に使用されます。
- 5 指定されたクラス以外を受講した場合、単位を修得することはできません。

再履修について

- 1 再履修クラスを受講できるのは、過去に同名科目を受講し、不合格（F）になった場合に限りです。当該科目の未履修者は再履修クラスを履修できません。
- 2「Basic Communication I」「Basic Academic English I」の再履修クラスは前期にのみ、「Basic Communication II」「Basic Academic English II」の再履修クラスは後期にのみ開講されます。
- 3「Basic English I」および「Basic English II」の再履修クラスは前期・後期共に開講されます

その他 英語科目等の履修登録

※以下の科目は科目区分「2025年度以前入学生：b) 外国語科目 応用英語」、「2026年度入学生：b) 言語コミュニケーション科目」の科目です

「Intensive English Course」

海外語学研修の科目です。申し込み方法等は別途掲示等によって案内します。

2022年度以降入学生

「Introduction to English for Global Communication A/B」

※2026年度より「Introduction to English for Global Communication I / II」は「A/B」に名称変更しました

※クラス定員は、30名程度を原則とします。授業開始前にキューポートでの抽選が実施されます。詳しくは告知が出ますので、それを参照してください。

「English for Global Communication A/B」

履修方法については別途、掲示等で案内いたします。なお学部1～4年生のすべての学生が対象ですが、2021年度以前の入学生は他学科科目の単位として計算されます。I群またはA群の応用英語の単位としては計算されませんのでご注意ください。

3. 言語コミュニケーション科目 ※2026年度以降入学生のみ対象

「ことばの科学 A/B」

クラス定員上限は100名とします。履修登録開始前にキューポートでの抽選が実施されます。抽選について詳しくはキューポートに告知が出ますので、それを参照してください。

※2026年度は後期に「ことばの科学 A」を開講します。前期には開講されません。

「ロジカル・ライティング」

「ロジカル・ライティング」系授業は、学籍番号によってクラスが分かれています。クラス分けは履修登録開始前にキューポートで知らせますので、正しいクラスで履修登録をしてください。「ロジカル・ライティング」系授業は、1年生対象の授業です。

4. 第二外国語科目 ※2025年度以前入学生のみ対象

2026年度以降入学生には第二外国語科目はありません。以下の説明は2025年度以前の入学生に対するものです。

2025年度以前の入学生の第二外国語について

1 第二外国語は必修ではありませんが、卒業に必要な単位として必修英語以外の応用英語または第二外国語の中から2単位修得することが必要です。

2024年度より各言語の「初級1」は「初級」に名称変更、「初級2」は廃止となりました。第二外国語初級で2単位を修得したい者は前期・後期で異なる外国語の初級を受講してください。前期・後期で異なる曜日・時間帯に登録できます。なお、母語が日本語ではない場合、母語とは違う言語を選択してください。

2 同時に2つの第二外国語を履修することはできません。都合の良い時間帯に一つだけ第二外国語を履修するようにしてください。登録できるのは一つの時間帯だけです。

3 第二外国語のクラス定員上限は50名とします。履修登録開始前にキューポートでの抽選が実施されます。抽選について詳しくはキューポートに告知が出ますので、それを参照してください。

「日本語中級Ⅰ/Ⅱ」について

2026年度以降は閉講です。

5. 保健体育科目

「身体・運動科学演習Ⅰ/Ⅱ」(新入学生)

「身体・運動科学演習Ⅰ」(前期)、「身体・運動科学演習Ⅱ」(後期)はともに必修科目です。必ず学部・学科ごとに定められた曜日・時限の授業を履修登録するようにしてください。

「身体・運動科学演習Ⅰ/Ⅱ」の再履修

「身体・運動科学演習Ⅰ」(前期)と「身体・運動科学演習Ⅱ」(後期)のうち、合格していない科目を履修登録してください。他学部・他学科の曜日・時限でも受講可能です。対面授業1回目に再履修である旨を担当教員に申し出てください。

「生涯スポーツ1/2/3」(2021年度以降入学生)

- 1 各自の希望する種目が開講されている曜日・時限で履修できます。別途配布される「**生涯スポーツ履修ガイド**」を参照してください。
- 2 年間2単位まで履修できますが、同一履修期に2科目(2単位)の履修はできません。
- 3 1科目目を「生涯スポーツ1」、2科目目を「生涯スポーツ2」、3科目目を「生涯スポーツ3」として登録してください。
- 4 「生涯スポーツ3」は、標準履修学年を3年生以上とし、学科ごとの3年履修条件を満たしていない場合は履修できません。

「生涯スポーツA/B/C」(2020年度以前入学生)

科目振替がありますので「生涯スポーツA」を「生涯スポーツ1」、「生涯スポーツB」を「生涯スポーツ2」、「生涯スポーツC」を「生涯スポーツ3」として履修登録してください。

6. 教職課程科目

教職科目全般について

教職科目を履修するためには、①年度初めに行われる教職課程説明会(2026年度はオンデマンド)に参加し、②教職課程の登録をします。単位の履修方法は登録の際に渡される「**教職課程の手引き**」に掲載されていますので、それに従って③「**教科及び教科の指導法に関する科目**」*₁と「**教育の基礎的理解に関する科目等**」*₂の履修をすすめてください。

「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「**教科に関する科目**」は自分の所属学科で修得します。「**教育の基礎的理解に関する科目等**」と「**教科の指導法に関する科目**」は、学科の必修の空き時間を使って履修を進めてください。たとえば1年生の前期に登録できるものに「**現代教職論**」があります。この科目は月曜2限と月曜3限(いずれも八王子)、土曜2限(新宿)、夏期集中(新宿)で開講しています。1年次に履修できなかった場合は、2年次以降でもかまいません。学科の募集を停止したなどの理由で、履修すべき科目が時間割に見当たらない!ということがあります。そんなときは、各学科の「**科目変遷表**」をチェックしてください。代わりにどの科目をとればいいのか記載してあります。

教職課程の履修や進路に関して、少しでもわからないことがあれば、教職教員に質問してください。学科の勉強にプラスして教職をとるのは大変かもしれませんが、授業や教育実習を通して、かけがえのない仲間と出会い成長することができます。

教育実習に関する科目について

教育実習を行う者は、下記の教育実習講義の授業コードを登録してください。

3年次後期に「**教育実習指導**」を履修してください。4年次の「**教育実習**」については、実習前年と実習年に教育実習オリエンテーションに出席し、実習年に教育実習費を納入する必要があります。4年次後期の「**教職実践演習**」は希望の曜日のクラスを各自登録してください。

「**教育実習A/B**」と「**教育実践演習**」(後期)は、随時開講となるため、重複して履修することが可能です。

科目名	担当者	学年	履修期	曜日	時限	授業コード	開講場所
教育実習指導	高岡 麻美	3年生	後期	土曜	5限	A1100193	新宿
教育実習 A	尾高進他	4年生	通年	土曜	5限	A1100191	新宿
教育実習 B	尾高進他	4年生	通年	土曜	5限	A1100192	新宿
教職実践演習	尾高進	4年生	後期	月曜	3限	A1100504	八王子
	内山宗昭他	4年生	後期	水曜	3限	A1100201	八王子
	瀬尾和哉他	4年生	後期	月曜	4限	A1100787	新宿
	安部芳絵	4年生	後期	土曜	5限	A1100203	新宿
	澤田俊也	4年生	後期	水曜	3限	A1100821	八王子

教職課程に関わる実験科目の履修登録について

入学年度により異なりますの、指定の授業を登録してください。※履修期は「夏期集中」となります。

学科	科目名	授業コード	担当者	諸注意
生命化学科	生物学実験 ※2022年度以降（4年生）入学生用	A1900218	辛 英哲	入学年度により、登録科目が異なるので注意すること
	基礎生物学実験 ※2021年度以前入学生用	A1100141		
応用化学科	生物学実験 ※2022年度以降（4年生）入学生用	A1900218	杉山 健二郎	入学年度により、登録科目が異なるので注意すること
	応化生物学実験 ※2021年度以前入学生用	A1500007		
環境化学科 応用物理学科	生物学実験	A1900218	辛 英哲 他	

教職課程に関わる名称変更科目について（機械工学科・機械システム工学科）

※2023年度以前入学生 「生物育成(新カリキュラム)」を履修・修得すると「栽培(旧カリキュラム)」とみなされます

7. 学芸員課程科目

学芸員科目を履修するためには、①年度初めに行われる学芸員課程説明会（2026年度はオンデマンド）に参加し、②学芸員課程の登録を行います。単位の履修方法は、登録時に渡される「学芸員課程の手引き」に掲載されています。これに従って、③学芸員課程の必修科目と選択科目（各学科に設置）を履修してください。

理工系分野の知識が豊富で、社会教育に対応できる学芸員は非常に少ないのが現状です。一方で、理工系の博物館は増加傾向にあり、今後の発展が予想されます。あなたもチャレンジしてみませんか。

また、本学は国立科学博物館大学パートナーシップに入会しています。本学学生は、国立科学博物館、附属自然教育園、筑波実験植物園の入館窓口で学生証を提示することにより、常設展は無料、特別展を割引価格で利用することができますので、ぜひ活用してください。博物館との出会いはみなさんの生活をより豊かなものにしてくれます。

博物館実習について

博物館実習は、学内演習（3年次・講義）と学外実習（4年次・博物館等での実習）の2段階で構成されています。4年次に学外実習を行うには、その前年度に学内演習（夏期集中）の受講と博物館実習報告会（例年11月～1月に2回実施 予備登録オリエンテーション含む）への出席が必須です。

教職課程・学芸員課程に関する問い合わせは

幹事 安部芳絵 abeyoshie@cc.kogakuin.ac.jp まで

8. インターンシップ・キャリア支援科目

「インターンシップ A/B」について

1・2年生対象の「インターンシップ A/B」は、実施の詳細や申し込み方法等を募集説明会にて説明します。別途掲示やキューポートにて案内しますので、注意してください。

「キャリアデザイン」「キャリア教育 I」「学外研修」の履修登録について

1 3年生対象の集中科目「学外研修」（通称：インターンシップ）の履修を希望する学生は、2年後期の選択科目「キャリアデザイン」または「キャリア教育 I」*を履修してください。「学外研修」で受入れ機関（研修先）を決定する際に、「キャリアデザイン」または「キャリア教育 I」の単位を修得した学生を優先します。この件に関しては、「キャリアデザイン」の1回目の授業で詳しく説明します。

2 「キャリアデザイン」「キャリア教育 I」は、後期履修登録期間に学生自身が WEB 上で履修申請を行ってください。「学外研修」は教務課で履修登録をするため、ご自身での登録は不要です。

※「キャリア教育 I」は、工学部電気電子工学科の2年生対象に開講されている第Ⅲ群の科目です。

「医薬工協働（PBL）」について

3年生対象の集中科目「医薬工協働（PBL）」は、実施の詳細や申し込み方法等を8月～9月上旬頃にキューポートにて案内しますので、注意してください

授業時間割変更等について

今年度、標準履修期と異なる開講をする科目もしくは開講しない科目がありますので、時間割表を確認してください。授業時間割に変更が生じた場合はキューポートより周知しますので、確認してください。

新宿キャンパスの教科書販売について

新宿キャンパスでは限られた期間のみ、教科書を販売しています。詳細はキューポートに掲示します。期間を過ぎた場合、大学での販売はありませんので、各自で購入してください。

授業アンケートの実施について（クォーター毎に実施）

授業アンケートがクォーター毎に全学的に実施されます。アンケートは、学生が学ぶ側の視点から授業に対する評価を行い、その結果を参考にしながら学生・教員双方でより良い授業を作り上げていく事を目的としています。回答方法等詳細は、キューポートで通知されますので、実施期間内に必ず回答してください。

履修の手引き（情報学部編）

履修登録は各入学年次の各学科学生便覧掲載のカリキュラム表に記載されている科目が対象となる¹。以下、これらの科目の履修登録に関する諸注意を記載する。

2026年度入学生については履修ガイドに記載の科目をまず参照の上、教職課程ならびに推奨科目以外の科目選択を行う場合には各学科の学生便覧に掲載されたカリキュラム表記載の科目から選択すること。

ステップアップ制対象科目について

情報学部 ステップアップ制対象科目は以下の通りです。

- ① プログラミングおよび演習 1 ⇒ プログラミングおよび演習 2 ⇒ プログラミングおよび演習 3 ⇒ プログラミングおよび演習 4
- ② 情報数学および演習 1 ⇒ 情報数学および演習 2 ⇒ 情報数学および演習 3 または 情報数学および演習 4
※ 情報数学および演習 3 と 情報数学および演習 4 はどちらから履修しても構いません
- ③ サイバーセキュリティ 1 ⇒ サイバーセキュリティ 2 ※ コンピュータ科学科
- ④ サイバーセキュリティ演習 1 ⇒ サイバーセキュリティ演習 2 ※ コンピュータ科学科

プログラミング系科目の履修登録について

2026年度入学生

- ① 「プログラミングおよび演習 1～4」は、教務課が履修登録を行いますのでご自身で登録する必要はありません。登録されたクラスで受講してください。注意！削除してはいけません！
- ② 不合格になった場合は、次のクォーターに再度受講する必要がありますが、その場合もご自身で登録する必要はありません。
- ③ 「プログラミングおよび演習 1～4」はステップアップ科目なので単位を取得できなければ、次のステップに進むことはできません。各クォーターが開始される前に受講するクラスがキューポートの学生時間割表に現れますので、都度確認してください。
- ④ 授業が開始される直前になっても「プログラミングおよび演習」の授業がキューポートの学生時間割表に現れない場合は教務課までお問い合わせください。
- ⑤ 授業開始 2 日前になってもキューポート学生時間割表に「プログラミングおよび演習」の授業が現れない場合は、教務課にご相談ください。

2020～2025年度入学生

■「プログラミングおよび演習 1」「プログラミングおよび演習 2」については、キューポートからご自身で履修登録ができません。

以下に指定した授業コードの科目の例外履修を教務課に申請すること。

科目名	開講期
プログラミングおよび演習 1	1Q : A1600057 (藤井先生クラス)
	2Q : A1600059 (藤井先生クラス)
プログラミングおよび演習 2	2Q : A1600061 (山口先生クラス)
	3Q : A1600066 (中島先生クラス)
	4Q : A1600067 (雨車先生クラス)

¹ ここに記載されていない科目の履修登録等については最終頁の「カリキュラム表に記載されていない科目の履修登録について」を参照のこと。

■「プログラミングおよび演習 3」「プログラミングおよび演習 4」

履修登録方法
1Q、2Q：自身で履修登録を行うこと
3Q、4Q：以下の授業コードで例外履修を教務課に申請すること 3Qのプログラミングおよび演習 3 は A1600069（安田先生クラス） 4Qのプログラミングおよび演習 3 は A1600072（雨車先生クラス） 4Qのプログラミングおよび演習 4 は A1600077（中島先生クラス）

※ステップアップ制のため、前の科目を修得済みでないと履修登録できないので十分に気を付けること。

※「プログラミングおよび演習」の例外履修申請については、教員への事前確認は不要です。

情報数学系科目の開講時期と履修登録について

情報数学系各科目の開講時期について

科目名	開講期
情報数学および演習 1	1Q、2Q、3Q
情報数学および演習 2	2Q、3Q、4Q
情報数学および演習 3 2019年度以前入学生は「情報数学 3 + 情報数学演習 II」	3Q、2年次以上1Q
情報数学および演習 4 2019年度以前入学生は「情報数学 4 + 情報数学演習 II」	4Q、2年次以上2Q

履修登録について

- ① 「情報数学および演習 1～2」は、1年生のみ教務課が履修登録を行います。1年次1Q「情報数学および演習 1」は KU-LMS(旧 CoursePower)よりクラスを指定するので注意すること。
- ② 「情報数学および演習 3～4」は、「情報数学および演習 1～2」を修得している学生のみが履修登録することが可能です。下記クラス案内に従い、各自で履修登録をして受講してください。

科目名	開講期	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	Eクラス	Fクラス
情報数学および演習 3	1Q	渡邊先生クラス (A1000229)			福田先生クラス (A1000230)		
	3Q	高橋先生クラス (A1000204)					
情報数学および演習 4	2Q	渡邊先生クラス (A1000231)			福田先生クラス (A1000232)		
	4Q	高橋先生クラス (A1000209)					

- ③ 2時限連続で同一クラスを履修してください。
- ④ 2年次以降これらの科目と他の必修科目の時間割が重複する場合は、前期後期のガイダンス期までに所属学科幹事への申し出が必要です。(例)「情報数学および演習 2」を2年2Qに履修する場合、「Basic Academic English I」は別の曜日時限のクラスとしてもらうなどの調整が必要。
- ⑤ 「情報数学 3～4」「情報数学演習 II」の再履修（2019年度以前入学生）
- ⑥ 時間割表巻末に記載されています。ご自身で履修登録してください。

各専門科目の履修登録について

「基礎情報学（2026年度以降入学生用）」履修登録と「情報学基礎論Ⅰ（2025年度年度以前入学生用）」の再履修登録について

基礎情報学は遠隔同時で実施する2026年度以降入学の1年生向けのABCクラス、DEFクラスがあるので、自分のクラスを確認して履修登録してください。情報学基礎論Ⅰについては2025年度以前入学の再履修生は対面授業の情報学基礎論Ⅰを必ず受講してください。

2019年度以前の入学者の「情報学序論」の履修登録について

情報学序論を履修する必要がある学生は情報学基礎論Ⅰの再履修クラスを履修してください。

「応用情報学（2026年度以降入学生用）」「情報学基礎論Ⅱ（2025年度年度以前入学生用）」の履修登録について

履修登録はクラス毎に行ってもらいますが、KU-LMS(旧 CoursePower)は全クラス共通で運用します。KU-LMS(旧 CoursePower)で各クラスのもの共通のものが見えるかもしれませんが、共通の方を使用してください。また、履修登録しても共通のものが現れない場合は担当教員に連絡してください。

「論理回路」の履修登録について

- ①後期の論理回路はAB,CD,EFの3クラスから自身のクラスを履修登録してください。
- ②第1回の講義資料配布（KU-LMS(旧 CoursePower)経由）のため、第1回目講義の3日前までに履修登録を済ませること。
- ③2年生前期にオンデマンドの再履修クラスがあります。

「データ構造とアルゴリズム及び演習」、「データ構造とアルゴリズム」、「データ構造とアルゴリズム演習」の履修登録について

受講科目について

- ①2021年度以降入学生は「データ構造とアルゴリズム及び演習【3単位】」に登録してください。
- ②2020年度入学生は「データ構造とアルゴリズム(再)【2単位】」および「データ構造とアルゴリズム演習(再)【1単位】」に登録することができます。原則、授業と演習の両方を履修することとし、演習のみの履修はできません。授業のみを希望する場合は事前に認められた場合にのみ可能とします。
- ③2019年度以前の入学生は「データ構造とアルゴリズム(再)【2単位】」のみに登録することができます。

受講クラス(教室)について

入学年度のABCDEFクラス分けに従って履修登録してください。なお、2020年度以前の入学生は、「データ構造とアルゴリズム及び演習の「Aクラス」と一緒に受講をしてもらいます。

「コンピュータアーキテクチャ」の履修登録について

2024年度以前の入学生（再履修者）は真鍋先生のクラスを履修してください。

「電気回路理論Ⅰ」、「電気回路理論演習Ⅰ」の履修登録について

前期

- ① 2025年度入学生については、教務課によって履修登録が自動でなされますので、そのクラスで履修してください。
* 入学年度の統一 ABCDEF クラス分けとは異なります。
- ② 2024年度以前の入学生については、情報通信工学科、コンピュータ科学科の学生は大嶋先生のクラス (A0400201,A0400207) で、情報デザイン学科、システム数理学科・情報科学科の学生は水野先生のクラス (A0400204,A0400210) で例外履修申請をしてください。その際、担当教員の許可は不要です。なお、受講人数に偏りがあるような場合にはクラス変更してもらうことがあります。

後期（再履修）

時間割に記載のクラス（【A】～【F】）に従って、履修登録をしてください。

なお、他の必修の授業と重なるときは、別のクラスを履修して構いません。

「情報技術者英語」の履修登録について

教務課が履修登録を行いますので登録されたクラスで受講してください。

「コンピュータ科学序論」の履修登録について（2024年度以前入学生用）

2024年度以前に入学したコンピュータ科学科学生を対象とした科目です。他学科および2025年度以降入学の学生は履修できません。なお、2024年度以前に入学したコンピュータ科学科学生は必修科目なので注意してください。

「サイバーセキュリティ1」、「サイバーセキュリティ演習1」の履修登録について

コンピュータ科学科の科目であるため、基本的に他学科生（科目等履修生含む）は履修登録できません。履修を強く希望する場合は、担当教員に事前に相談し、許可を得ることができたらサイバーセキュリティ1 [J1][A][対面] (A1901396)、サイバーセキュリティ演習1 [J1][A][対面] (A1901399) の例外履修申請を行ってください。

なお、サイバーセキュリティ演習1 [J1][B][遠隔(同)] (A1901400)、サイバーセキュリティ1 [J1][B][遠隔(オ)] (A1901397) については他学科生（科目等履修生含む）の例外履修申請は認めません。

「サイバーセキュリティ2」、「サイバーセキュリティ演習2」の履修登録について

ステップアップ制対象科目であるため、「サイバーセキュリティ1」および「サイバーセキュリティ演習1」の単位を両方とも取得した学生のみ、「サイバーセキュリティ2」および「サイバーセキュリティ演習2」を履修登録できます。

「情報デザイン学実験」の履修登録について

- ① 2025年度入学生については、教務課によって**情報学部総合の学生の学科配属が決まった後に**履修登録が（2～3時限クラスと4～5時限クラスに分けて）自動でなされますので、そのクラスで履修してください。
* 入学年度の統一 ABCDEF クラス分けとは異なります。
* 後期金曜日の2時限目～5時限目は実験のクラス分けが決まるまで他の科目は履修登録できません。
* 自動登録後の変更は学科幹事の承認が必要です。また、自分で誤って削除すると履修できなくなりますのでご注意ください。
- ② 2024年度以前の入学生については、それぞれの入学年度のABCクラスは4,5時限目、DEFクラスは2,3時限目に自身で「後期の履修期間（この科目のみ前期期間で履修登録をすることはできません）」にて履修登録して履修して下さい。
* 指定の時限が他の科目(原則必修科目)とどうしても重なる場合は、余裕をもって学科幹事に相談して下さい。
実験第1回開始後は原則変更は受け付けません。

数学系科目の履修登録について

「微分及び演習」「積分及び演習」「偏微分及び演習」「重積分及び演習」「線形代数学及び演習Ⅰ～Ⅳ」(2026年度入学生)

- 履修コード表を参照のうえ、ご自身で登録してください。注意！登録するコードを間違えない！
- 再履修またはレポートする場合は「履修コード表」でのクラス指定に関わらず、時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。ただし、3Q・4Qの「積分及び演習」で再履修者やレポートの履修者が多い場合、別のクラスへの変更を指示することがあります。
- 「線形代数学及び演習Ⅲ/Ⅳ」については標準履修期以外の開講はありません。再履修ならびにレポート希望の場合は次年度となります。
- 内容が近い「微分積分及び演習Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ」(工学部)、「微分積分Ⅰ/Ⅱ」(建築学部)、「線形代数及び演習Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ」(先進工学部/工学部)、「線形代数統論Ⅰ/Ⅱ」(工学部)、「線形代数学Ⅰ/Ⅱ」(建築学部)の履修はできません。

「微分及び演習」「積分及び演習」「偏微分及び演習」「重積分及び演習」「線形代数学及び演習Ⅰ～Ⅳ」(2022～2025年度入学生)

- 2年生もしくは1年生の時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。ただし、科目名の後に(再)とついている科目は、過去に一度以上受講したものの単位未修得である学生のみ履修可能なので注意してください。
- 基本的な履修のルールは2026年度入学生と同じです。

「微分」「積分」「偏微分」「重積分」「微分・積分演習」「線形代数学1～4」「線形代数学演習」(2021年度以前入学生)

- 2022年度以降入学の全学生は履修できません。
- 時間割表巻末の「2021年度以前入学生用授業コード表」で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。
- 「微分積分A～D」「微分積分演習Ⅰ/Ⅱ」「線形代数A～D」「微分積分及び演習Ⅰ～Ⅳ」(工学部)、「微分及び演習」「積分及び演習」「偏微分及び演習」「重積分及び演習」(先進工学部/情報学部)、「線形代数1～4」「偏微分・重積分演習」(先進工学部)、「線形代数及び演習Ⅰ～Ⅳ」(先進工学部/工学部)、「線形代数学及び演習Ⅰ～Ⅳ」(情報学部)、「微分積分Ⅰ/Ⅱ」「線形代数学Ⅰ/Ⅱ」(建築学部)は履修できません。

幾何学系科目

(履修可能な科目一覧)

科目名	対象学科	備考
総合幾何学Ⅰ/Ⅱ	情報通信工学科	2年生後期に所属学科が決まった学生を含む
計算幾何学	コンピュータ科学科	
デザイン幾何学	情報デザイン学科	
システム幾何学	情報科学科・システム数理学科	

- 履修可能な科目は上記の表のように学科ごとで指定されています。
- 「計算幾何学」「デザイン幾何学」「システム幾何学」を再履修やレポート登録をする際、他科目と重複し、指定クラスで履修できない場合は指定外のクラスで例外履修できます。
- 他学部の「幾何学Ⅰ/Ⅱ」、「電気電子幾何学Ⅰ/Ⅱ」、「建築幾何学Ⅰ/Ⅱ」の履修はできません。

「微分方程式」「応用解析学」

他学部の「微分方程式」、「微分方程式論」、「応用解析学」は履修できません。

物理系科目の履修登録について

全般について

- ① 履修期や履修の仕方について、疑問がある場合には各学科の幹事に相談すること。
- ② 下記の物理科目について、受講資格の確認、クラスの移動など再履修に関して、各学部の履修の手引きを確認したうえで不明な点があれば、メールにて「kyoyo-physics@cc.kogakuin.ac.jp」にお問い合わせください。それ以外の方法による問い合わせには応じません。

「物理学実験」

履修の際の注意点についてはシラバスに記載するので必ず確認すること。

「物理学及び演習Ⅰ/Ⅱ/ⅢC/ⅢD」(2026年度入学生)

- ① 履修コード表を参照のうえ、ご自身で登録してください。注意！登録するコードを間違えない！
- ② 「物理学及び演習Ⅰ」、「物理学及び演習Ⅱ」は、どの期のクラスを履修してもかまいません。時間割にはクラス指定がしてありますが、履修人数調整のためのクラス指定であり、必ずしもその期から履修を開始しなければならないということを意味しません。標準履修期外での初履修の場合、時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。
- ③ リポート・再履修にて受講する場合も「履修コード表」でのクラス指定に関わらず、時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。
- ④ 上記科目は週1コマの遠隔オンデマンド講義と週1コマの対面演習からなります。遠隔オンデマンド講義が設置されている時間割上の曜日に関わらず、当該週の遠隔オンデマンド講義を受講してから対面演習に臨んでください。

「物理学及び演習Ⅰ/Ⅱ/ⅢC/ⅢD」(2022～2025年度入学生)

- ① 2年生もしくは1年生の時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。
- ② 基本的な履修のルールは2026年度入学生と同じです。

「物理学1/2」「物理学演習Ⅰ/Ⅱ」(2021年度以前入学生)

オンデマンド型の遠隔授業で実施します。時間割表巻末の「授業コード表」で開講期・開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。開講期が限られていますので、注意してください。原則として再履修のみ受け付けますが、リポート履修を希望する場合は学科幹事の教員と相談の上、例外履修登録申請を行ってください。

化学系科目の履修登録について

「化学及び演習Ⅰ/Ⅱ」(2026年度入学生)

- ① 履修コード表を参照のうえ、ご自身で登録してください。注意！登録するコードを間違えない！
- ② 他学部の学生を対象として開講されている化学の講義を情報学部の「化学及び演習Ⅰ/Ⅱ」として履修することはできません。
- ③ リポートまたは再履修として受講する場合は、「履修コード表」でのクラス指定に関わらず、時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。
- ④ 「化学及び演習Ⅰ」は、2Q以降は、(対面演習の曜日時限で) 2Qの月・水・金曜日の5時限、3Qの水・金曜日の5時限、4Qの金曜日の5時限、に開講されます。
- ⑤ 「化学及び演習Ⅱ」は、3Q以降は、(対面演習の曜日時限で) 3Qの月・水・金曜日の5時限、4Qの水・金曜日の5時限、に開講されます。

「化学及び演習Ⅰ/Ⅱ」(2022～2025年度入学生)

- ①1～3年生の時間割で開講曜日を確認し、ご自身で登録してください。
- ②「化学及び演習Ⅰ」は、(対面演習の曜日時限で)八王子キャンパスでは2Qの月・水・金曜日の5時限、3Qの水・金曜日の5時限、4Qの金曜日の5時限、新宿キャンパスでは1Qの月曜日の3時限、3Qの月曜日の2時限に開講されます。八王子キャンパスは全学年が対象、新宿キャンパスは3年生以上が対象です。
- ③「化学及び演習Ⅱ」は、(対面演習の曜日時限で)八王子キャンパスでは1Qの金曜日の5時限、3Qの月・水・金曜日の5時限、4Qの水・金曜日の5時限、新宿キャンパスでは2Qの月曜日の3時限、4Qの月曜日の2時限に開講されます。八王子キャンパスは全学年が対象、新宿キャンパスは3年生以上が対象です。
- ④八王子キャンパスにて1Qに「化学及び演習Ⅰ」、2Qに「化学及び演習Ⅱ」を受講する場合は、情報学部1年生対象のクラスを受講して下さい。
- ⑤基本的な履修のルールは2026年度入学生と同じです。

「化学Ⅰ/Ⅱ」(2021年度入学生)「化学A/B」(2020年度以前入学生)

- ①2021年度入学生が再履修またはレポート受講する場合は、時間割表巻末の「授業コード表」を確認し、ご自身で登録してください。「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」はそれぞれ、1～4Qの火曜日の6時限に1クラスずつ開講されます。
- ②2020年度以前の入学生が再履修またはレポート受講する場合も、「化学A」「化学B」は開講されません。「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」の単位を取得すれば、それぞれ「化学A」「化学B」の単位に振り替えます。
- ③履修の順序に制限はありませんが、学習内容の十分な理解のため、「化学Ⅰ」→「化学Ⅱ」の順に履修することを強く推奨します。
- ④他学部の学生を対象として開講されている化学の講義を情報学部の「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」として履修することはできません。
- ⑤「化学及び演習Ⅰ」「化学及び演習Ⅱ」を履修することはできません。
- ⑥オンデマンド型の遠隔授業で実施します。

カリキュラム表に記載されていない科目の履修登録について

各入学年次の各学科学生便覧掲載のカリキュラム表に記載されていない科目(情報学部他学科科目、他学部他学科科目、単位互換科目等)の進級並びに卒業条件に関わる扱いは、入学年次、所属学科によって異なるので、各入学年次の各学科学生便覧掲載の進級・卒業条件表を参照すること。なお、これらの科目はキューポート上での履修登録ができないため「例外履修申請」が必要となる。履修登録期間中にキューポートに掲示される案内を確認の上、例外履修申請を行うこと。その他手続き等で不明な点は教務課または所属する幹事に問い合わせること。

履修登録&マイステップ登録 スタートマニュアル

履修登録とは

授業を受講するには、必修科目を含め全て、必ず履修登録をする必要があります。履修登録をしていない授業は、成績評価の対象になりません。なお、履修登録は全てWEB上で行います。

履修登録から単位取得までの流れ

履修登録→登録内容の確認→授業の受講（予習・復習含む）⇒筆記試験等成績評価⇒合格すれば所定単位を取得
ここでは上記の履修登録方法と登録内容の確認方法について説明します。

マイステップ登録とは

マイステップとは、大学で学ぶ際の「学修目標」と実際に獲得した「学修成果」を自ら記録していく学修ポートフォリオです。大学での学修をより充実させることはもちろん、研究室を検討するときや将来の進路を考え、行動していく際に役立つツールとなりますので、必ず入力してください。

WEB履修申請の流れ

手順1. キューポート「履修メニュー」から「1.はじめに」を確認する



手順2. 「2.マイステップ登録」へ入力をする



手順3. 「3.履修登録」で履修する科目を選択する



手順4. 該当のクラスではない授業を選択した場合などエラーチェックがかかるので、エラーがある場合は修正する



手順5. 登録しようとしている履修内容で進級・卒業見込みのチェックがかかるので便覧も参照しながら確認する



手順6. 特に問題がなければ「提出」ボタンを押し、履修申請を提出する

Point1 「提出」ボタンを押した後、履修登録画面に戻り、追加や削除、あるいは進級・卒業見込み判定のチェックを再度かけた場合は、もう一度「提出」ボタンを押してください。提出ボタンを押した後に再度履修登録画面へ戻ると再編集状態となり、提出は取り消されます。

Point2 エラーのある状態を放置しない。
エラーのある状態のまま履修登録期間が過ぎると履修内容は削除されます。

Point3 エラーが解消できないなど履修についての疑問は履修相談コーナーで相談してください。

【！】「提出」ボタンを押した後、登録完了メールが届きますが、再度履修登録画面に戻り、追加や削除あるいは進級・卒業見込み判定のチェックを行った場合は、「提出」ボタンを再度押す必要があります。提出ボタンを押した後に再度履修登録画面へ戻ると再編集状態となり、提出は取り消されます。

【！】履修登録スケジュールを見て、1Q～4Qの履修登録ができる期間を確認してください

【！】スケジュールにリマインド設定するなどして登録期間を忘れないようにしてください

【！】予定管理を怠った結果生じた履修登録不備について、追加修正は一切認めません

【！】履修登録期間内は、原則、各日16時までの申請が当日20時にキューポート学生時間割表に反映されます

【！】登録した科目のKU-LMSへの反映は翌日朝6時です（日曜・祝日を除く）

【！】履修登録期間中に履修の追加や修正、削除をしたい場合は、最初に戻って履修申請してください

【！】履修登録期間外の登録、削除は一切できませんのでご注意ください

履修登録画面に表示される科目について

履修登録画面上で選択できる科目は、所属学科のカリキュラムに存在し、かつ標準履修学年を満たしている科目になります。ただし、情報学部・建築学部などの一部学部では、卒業単位に含められる他学科科目も表示されます。学生便覧をよく確認してください。

- ・クラス分けのある授業は、原則、入学次に発表されるクラス分け表に従って該当するクラスを履修登録してください。

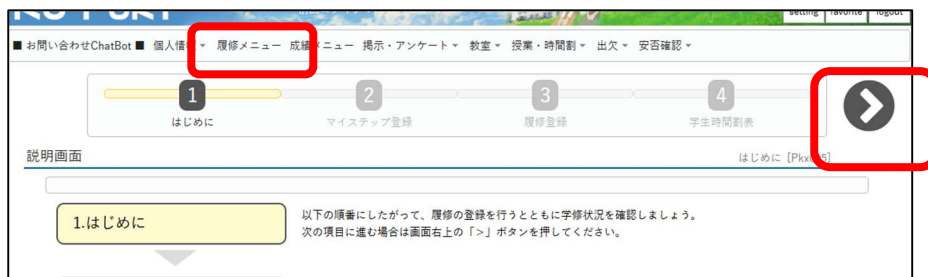
- ・一部科目については、システム上でクラス指定がされており、自分の該当するクラスのみが履修登録画面上に表示されます。
- ・自分の該当クラス以外の授業は、紙の時間割表に記載されていても、履修登録できません。

履修申請方法

【！】複数ブラウザ(スマホとPC 等)で履修登録を行うと、不整合により履修が削除される場合があります。
必ず1つのブラウザで履修登録を行ってください。

【！】必読 注意事項を以下の通りまとめています。履修登録を行う際は、以下に注意してください。

1. キューポートメニュー「履修メニュー」をクリックします。画面の内容を確認の上、「>」ボタンを選択します



2. 指示に従い「マイステップ登録」をしてください。登録後、「>」ボタンを選択します



2-1. 履修登録画面が立ち上がるので「授業を追加」から履修する授業を選択します

※夏期・春期集中授業は、それぞれ2Q、4Qの「集中講義」欄から選択してください

履修開始 授業の選択 最終確認 見込判定 完了

履修する授業を選択してください。
授業を選択後、最終確認へ進んでください。

最終確認へ
登録内容を取り消す

授業を追加 授業コードを直接入力

2025年度 前期(1Q)

エラー 変更不可 (登録済)

曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日

+追加

Basic Eng.I [工学] [01-06] [対面]
伊藤 達也
1S-209講義室/八王子
A0200240

複数学期

【！】自動登録科目は予め履修登録画面に登録されています。
一度削除すると、自分で登録することはできません。
履修希望する場合は、絶対に削除しないよう注意してください。

授業の追加

2025年度 前期(1Q) 月1

授業科目	教員氏名	教室	キャンパス	単位数
<input type="checkbox"/> A0200960 物理学及び演習Ⅰ [工…	武藤 恭之	1E-202講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A0200961 物理学及び演習Ⅰ [工…	武藤 恭之	1E-203講義室	八王子 遠隔	1.50
<input checked="" type="checkbox"/> A0200962 物理学及び演習Ⅰ [工…	武藤 恭之	1N-216講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A0200963 物理学及び演習Ⅰ [工…	武藤 恭之	1E-206講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A0200964 物理学及び演習Ⅰ [工…	武藤 恭之	1S-208講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A1900850 線形代数及び演習Ⅰ […	森澤 貴之	1S-208講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A1900851 線形代数及び演習Ⅰ […	陸名 雄一	1E-206講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A1900852 線形代数及び演習Ⅰ […	高木 悟	1S-108講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A1900853 線形代数及び演習Ⅰ […	国定 亮一	1S-207講義室	八王子 遠隔	1.50
<input type="checkbox"/> A1900854 線形代数及び演習Ⅰ […	豊田 哲	1N-216講義室	八王子 遠隔	1.50

確定

2-2. 「授業コードを直接入力」タブから、授業コードを打ち込んで登録することもできます

最終確認へ
登録内容を取り消す

授業を追加 授業コードを直接入力

エラー 変更不可 (登録済)

前期(1Q)合計単位数 0.50
前期(2Q)合計単位数 0.50
後期(3Q)合計単位数 0.00
後期(4Q)合計単位数 0.00
履修合計単位数 1.00

授業コード A0200695 追加

授業科目	開講学期	開講曜日	教員氏名	教室	キャンパス	単位数
<input type="checkbox"/> A0200240 Basic Eng.I [工…	2025年度 前期(1Q) 2025年度 前期(2Q)	月2	伊藤 達也	1S-209講義室	八王子	1.00

1件 (1 / 1) 10

3. 「最終確認へ」をクリックします

4. 「基本履修チェック」で、一次エラーチェックが行われます。「履修内容にエラーはありません」と表示されたら、「見込み判定へ」をクリックします

【！】この段階で全ての履修エラーがわかるわけではありません。キューポート学生時間割表に登録した履修内容が反映されたら必ずエラー有無を再度確認してください

5. 以下のようなエラーが残っている場合は、エラーの修正を行い、再度「最終確認へ」を選択します

▼ 【履修基本・条件エラー】

- ▶ 「A0600028 フランス語初級II【B D F H】」フランス語初級IIを履修するためには、フランス語初級Iを修得済であること (10004)
- ▶ 「A0800014 偏微分【A B C D】」偏微分を履修するためには、積分を修得済であること (20002)
- ▶ 「A0800017 偏微分【2】」偏微分を履修するためには、積分を修得済であること (20002)
- ▶ 「A1000014 重積分【2】」重積分を履修するためには、偏微分を修得済であること (20003)

→ステップアップの履修条件を満たしていません。

- ▶ 「A0600015 フランス語初級I【B D F H】」授業時間重複またはキャンパス間移動条件を満たしていません。(018)
- ▶ 「A1900048 社会教育」授業時間重複またはキャンパス間移動条件を満たしていません。(018)

→同時に複数の授業を登録しているか、新宿/八王子の移動時間(105分)を満たしていません。

- ▶ 「A1000106 情報処理入門【C】」同一開講期に同一科目の授業は履修できません。(004)
- ▶ 「A1000109 情報処理入門【A】」同一開講期に同一科目の授業は履修できません。(004)

→同一開講期に同名科目は複数履修することはできません。

▼ 【履修制限エラー】

- ▶ CAP制により年間49単位までしか履修登録できません。(100c1)

→CAP制上限である49単位を超えて履修登録しています。

6. 進級・卒業見込み判定の一次チェックがかかります。エラー状況を確認し、必要であれば科目の追加修正を行います。問題がなければ「提出」をクリックします。

【！】システムの一次チェックだけでなく、自分自身でも必要な単位を満たしているか学生便覧と照らし合わせて必ず確認してください

7. 「提出します。よろしいですか？」と表示されるので、「√OK」をクリックします

エラーが無い事を確認

チェックしない

提出

【！】「確認メール」が履修申請の控えになります。履修登録に関して窓口で問い合わせをする場合は、必ず「確認メール」を用意してください。

「確認メール」の控えが無く、申請が未完了のために正常に登録・削除できなかった内容について、期間外の追加修正は一切できません

なお、一度提出した後でも、登録期間中であれば再度履修申請を行うことができます

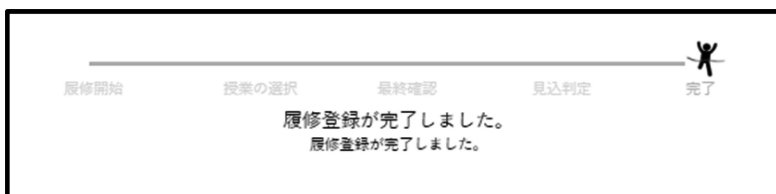


8. 「履修登録が完了しました。」画面が表示されたら、一次履修登録が完了です

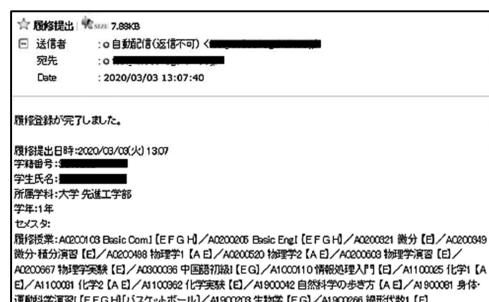
【注意】 提出ボタンを押した後に再度履修登録画面へ戻ると再編集状態となり、提出は取り消されます。

【注意】 「提出」ボタンを押した後、登録完了メールが届きますが、再度履修登録画面に戻り、追加や削除あるいは進級・卒業見込み判定のチェックを行った場合は、「提出」ボタンまでを再度押す必要があります

【！】この画面が表示されるまでは、履修登録は一切完了していません



【！】確認メールが届いたことを必ず確認してください



9. キューポート学生時間割表を確認すると、履修二次エラーチェック結果が確認できます

履修登録した内容は、教務課で再度チェックを行った後、各日20時まで（日曜・祝日を除く）にキューポート学生時間割表に反映されます。その際、「提出」した段階ではエラーがなかったにもかかわらず、エラーが発生のメッセージが出ている場合があります。（ex. **学生自身で登録する科目ではなく、教務課で登録する科目の内容が反映され、CAP上限数を超えてしまった場合など**）この場合は、次の登録機会にご自身でエラーを解除の上、再度「提出」してください。

抽選科目について〈概要〉 ※詳細は前期・後期開始前のキューポート掲示を確認してください

以下の開講科目は抽選対象科目です。抽選に応募して、**当選した学生しか受講できません。**

受講を希望する学生は、指定の期間にキューポート履修登録システム上で必ず応募をしてください。

抽選申し込みは、**前期科目が1Qの履修登録期間・後期科目が3Qの履修登録期間の日程近くに実施されますので、キューポート掲示を見逃さないよう十分に注意してください。**

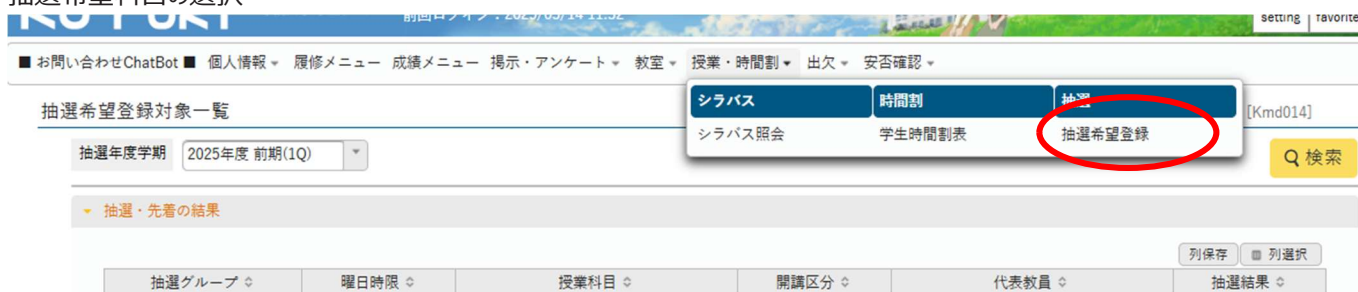
2026年度抽選予定科目

	科目区分または科目種類	対象の入学年度	科目名
①	言語コミュニケーション科目	2026年度以降 入学生	「Introduction to English for Global CommunicationA」 ※2026年度より「Introduction to English for Global Communication I / II」は「A/B」に名称変更しました
	応用英語	2022年度以降 入学生	
②	第二外国語	2025年度以前 入学生 ※ 2026年度以降入学生には第二外国語科目は開講されていません	「〇〇語初級」 ※2024年度より各言語の「初級1」は「初級」に名称変更、「初級2」は廃止となりました。 ※第二外国語初級で2単位を修得したい者は前期・後期で異なる外国語の初級を受講してください（後期抽選に関わるお知らせは、9月にキューポートでお知らせ配信予定です）。 なお、母語が日本語ではない場合、母語とは違う言語を選択してください。

抽選希望提出方法

キューポートメニュー：「授業・時間割」>「抽選」> 抽選希望登録

抽選希望科目の選択



抽選結果の確認

同メニューから抽選結果を確認できます

抽選希望登録対象一覧 抽選希望登録 [Kmd014]

抽選年度学期 2023年度 前期(1Q) 検索

▼ 抽選・先着の結果

抽選グループ	曜日時限	授業科目	開講区分	代表教員	抽選結果
test1 test1	月5	A0300072	週間授業	安 明姫	当選
test1 test1	火5	A0400145	週間授業	大野 雄三	落選
test1 test1	火5	A0600046	週間授業	沼田 壽治	落選
test1 test1	水5	A1800095	週間授業	柏谷 典子	落選
test1 test1	土5	A0300068	週間授業	安 明姫	落選

5件 (1 / 1) 10

KU-LMSについて

・工学院大学では授業でKU-LMSという学修支援システムを利用します。

注意事項

- 履修登録完了後、原則翌日朝6時に履修登録した科目がフォルダとして現れ、授業で利用できます。
- 履修登録せず、KU-LMS上で仮登録した場合でも授業は受講できますが、**キューポートで履修登録をしなければ、本登録の状態ではありません**。このような状況で試験を受けたとしても成績は付きませんので、ご注意ください。
- ご自身の履修登録内容はKU-LMSではなく、**キューポートの学生時間割で確認してください**。

履修登録スタートマニュアルまとめ（確認できたらチェックを入れること）

- 進級・卒業見込み判定はシステム任せにせず、自身でも確認が必要なことを確認した
- 履修登録の提出ボタンを押した後、追加や削除あるいは進級・卒業見込み判定の操作をした場合は、もう一度提出ボタンを押さなければ履修登録は完了しないことを確認した
- 履修登録は各日16時までの申請が、当日19時にキューポート学生時間割表に反映され、翌日朝6時にKU-LMSへ反映されることを確認した
- 抽選科目の抽選が履修登録期間にあることを確認した